

# ポケットカード株式会社

2013年2月期  
第2四半期決算説明会

代表取締役社長 **渡辺 恵一**

30<sup>th</sup>  
Anniversary



おかげさまで30周年。  
さあ、次の未来へ

# 業績概況

百万円

	11年8月期	12年8月期	増減	前年同期比	(ご参考) 2Q予想数値
① 営業収益	18,121	<b>16,788</b>	-1,333	-7.4%	17,000
② 営業利益	2,369	<b>955</b>	-1,413	-59.7%	1,000
③ 経常利益	2,321	<b>951</b>	-1,370	-59.0%	1,000
④ 純利益	1,831	<b>116</b>	-1,715	-93.6%	100

# 営業利益 前年同期差異要因

	11年8月期	12年8月期	前年同期差
営業利益	23.7 億円	9.6 億円	-14.1 億円

増益要因 +24.4 億円

減益要因 -38.5 億円

ショッピング収益 増  
+9.2

貸倒関連費用 減  
+7.9

その他の販管費 減 +3.4

金融費用 減 +3.9

キャッシング収益等 減  
-22.5

利息返還関連費用 増  
-16.0

営業利益  
23.7

営業利益  
9.6

11/8期

12/8期

# 取扱高

百万円

	11年8月期	12年8月期	増減	前年同期比
① 信用購入あっせん	182,259	<b>192,184</b>	+9,924	+5.4%
② 融資	16,227	<b>16,800</b>	+573	+3.5%
③ その他	1,688	<b>1,970</b>	+281	+16.7%
④ 合計	200,175	<b>210,955</b>	+10,779	+5.4%

# 債権残高

百万円

	11年8月期	12年8月期	増減	前年同期比
① 割賦売掛金 ※	123,480	<b>136,130</b>	+12,650	+10.2%
② 営業貸付金	105,265	<b>82,968</b>	-22,296	-21.2%
③ 合計 ※	228,745	<b>219,099</b>	-9,645	-4.2%

※債権流動化オフバランス分含む

# 営業収益

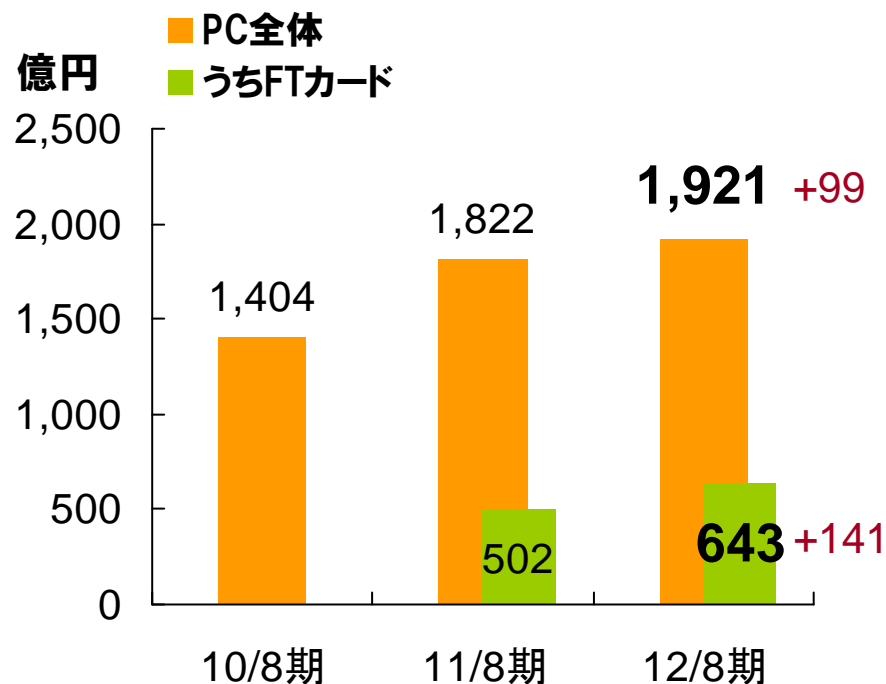
百万円

	11年8月期	12年8月期	増減	前年同期比
① 信用購入あつせん	7,651	<b>8,572</b>	+920	+12.0%
② 融資	9,238	<b>7,009</b>	-2,228	-24.1%
③ その他	1,231	<b>1,206</b>	-25	-2.1%
④ 合計	18,121	<b>16,788</b>	-1,333	-7.4%

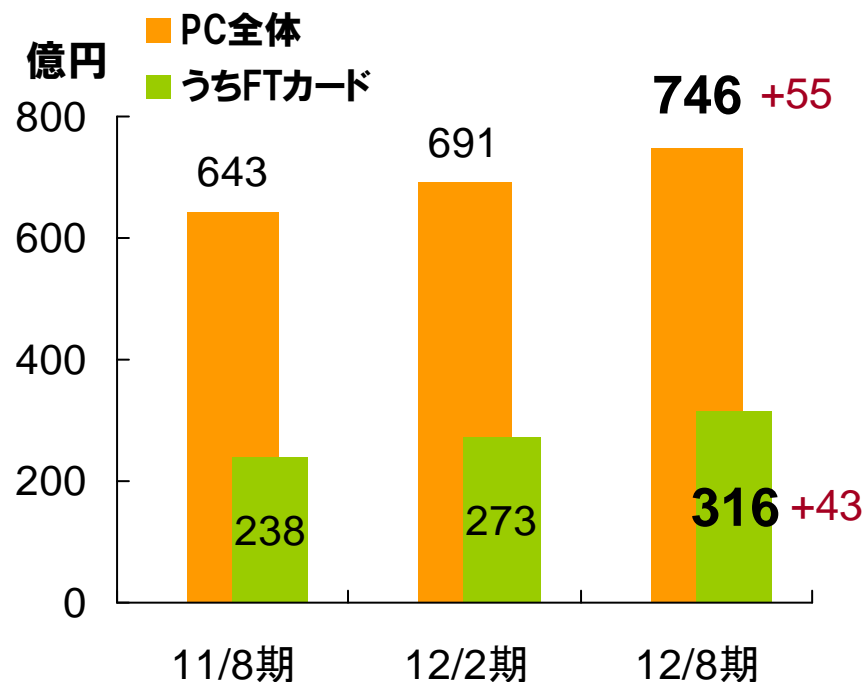
# 信用購入あっせん部門①

ファミマTカードが引き続き拡大  
ショッピング取扱高、リボ残高は堅調に推移

## 取扱高



## ショッピングリボ残高

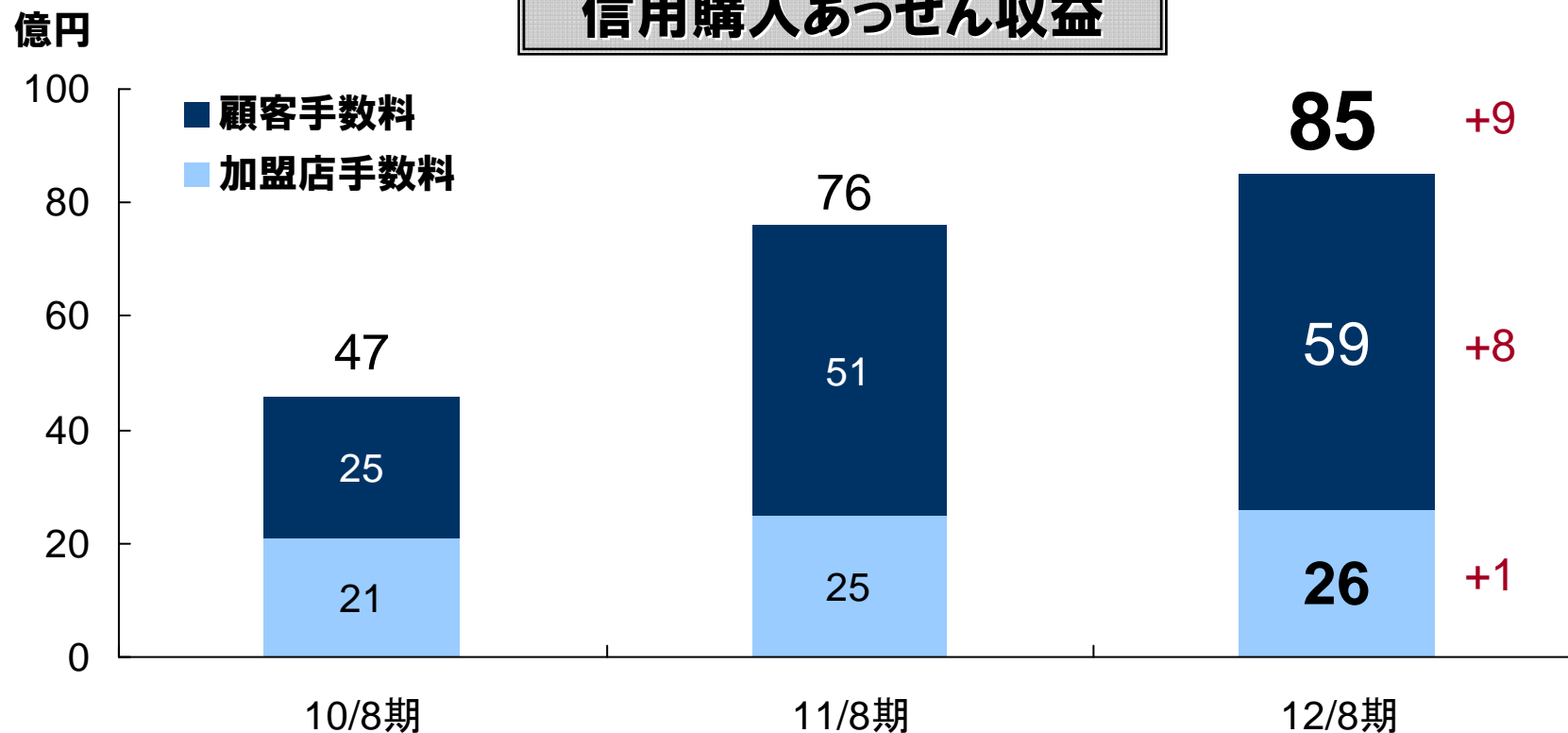


※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ数値を掲載しております。

# 信用購入あっせん②

ショッピングリボ残高の増加により  
顧客手数料が増収の牽引役に

## 信用購入あっせん収益



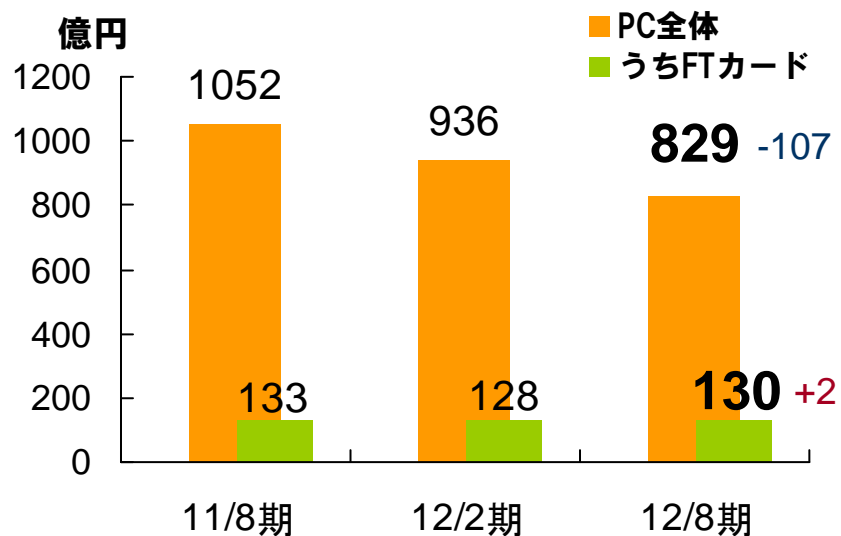
※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。



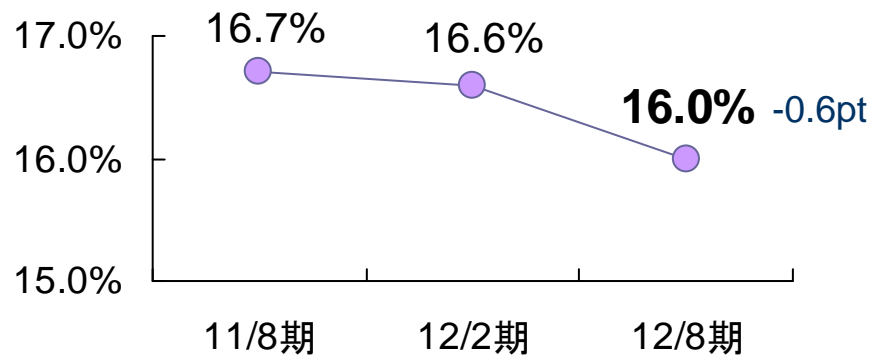
# 融資部門

残高の減少、利回りの低下により融資収益は減収

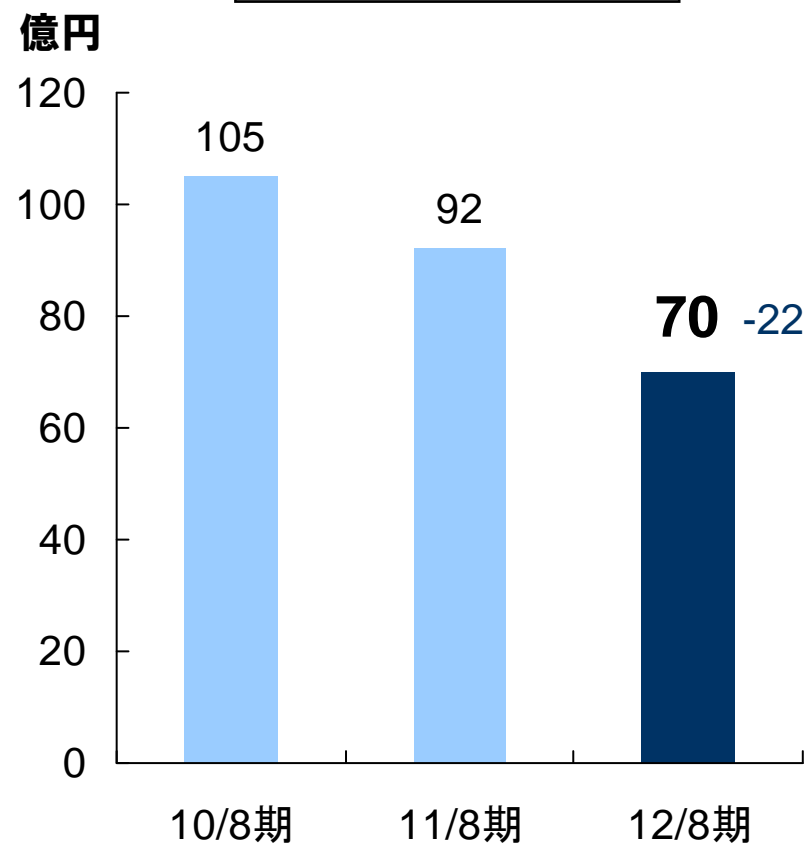
## 融資残高



## 平均利回り



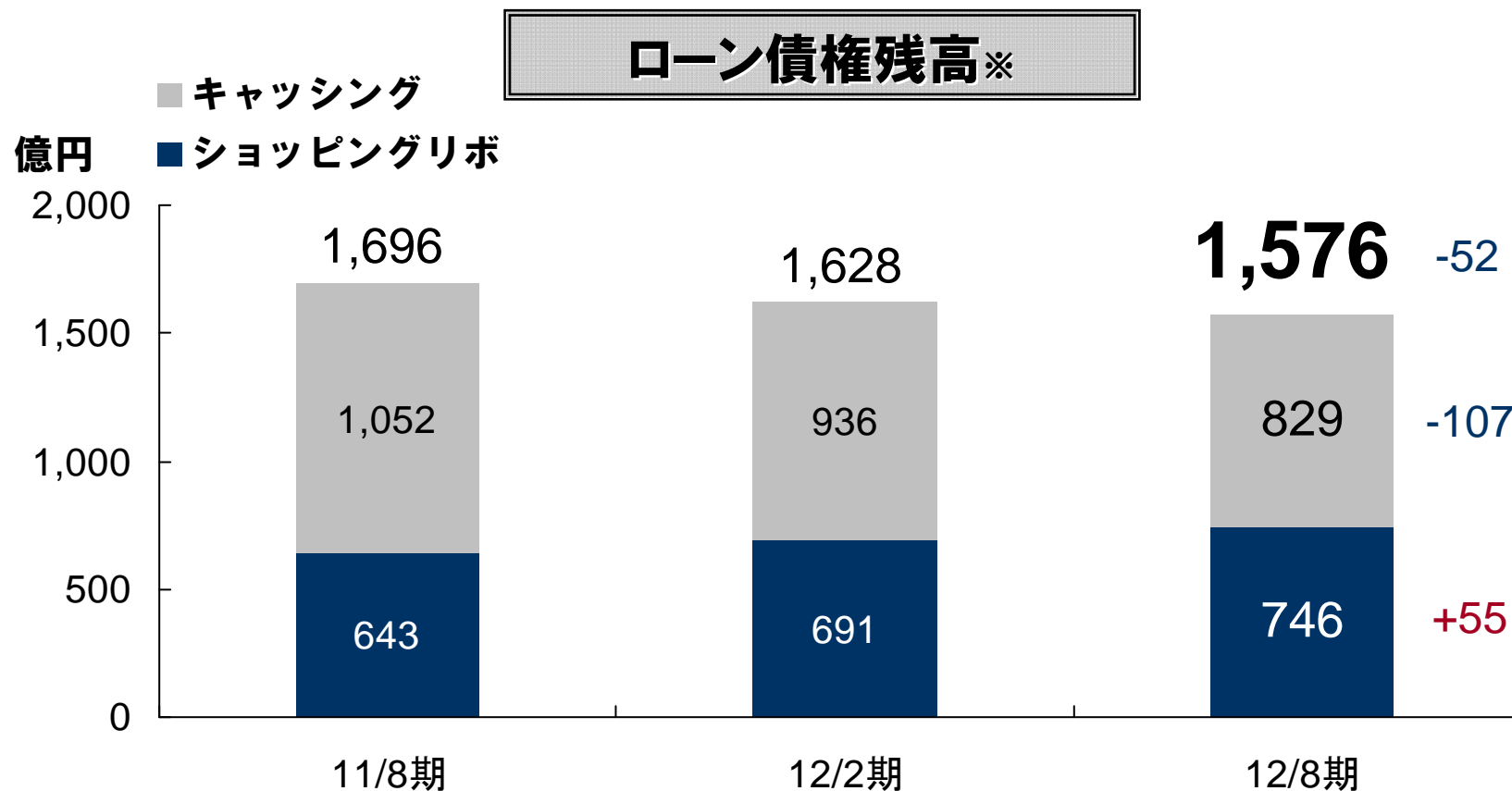
## 融資収益



※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。

# ローン債権残高

ショッピングリボ残高拡大により  
ローン債権残高の減少幅を抑制

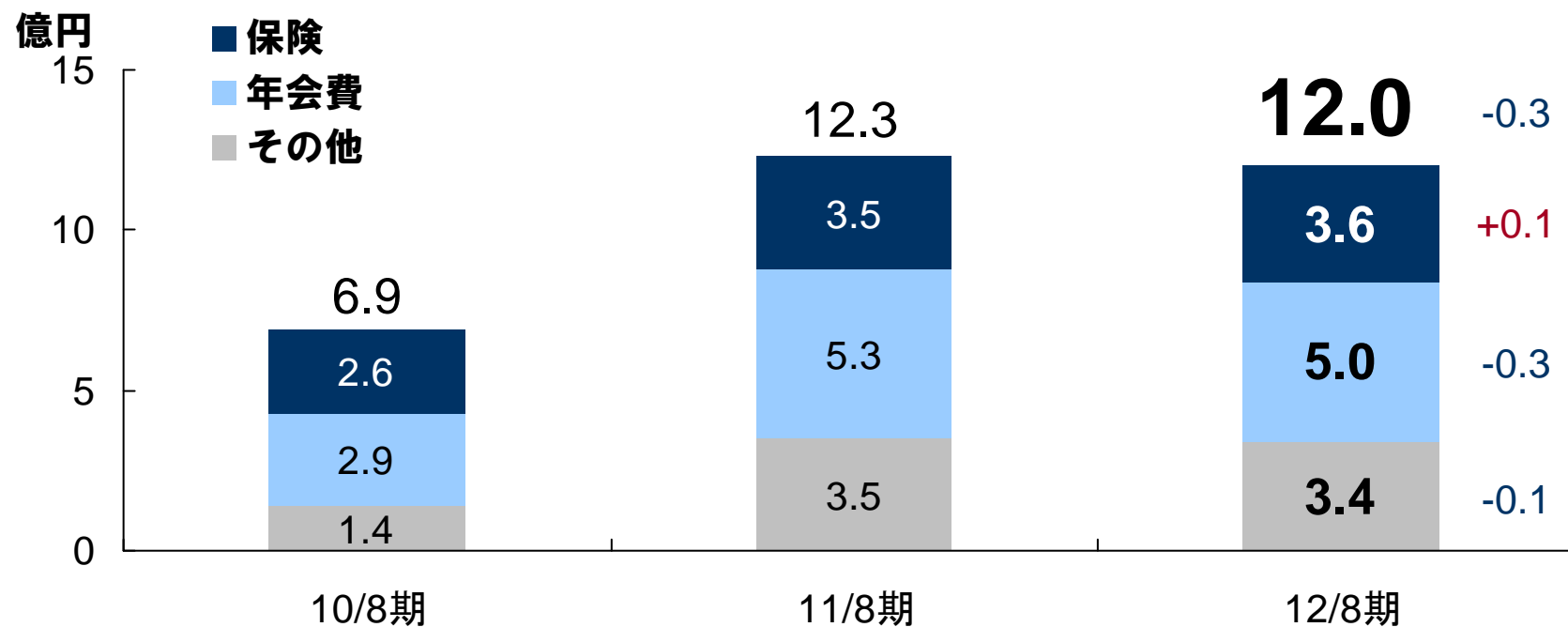


※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

# その他営業収益

保険、年会費を含むその他営業収益は横ばいで推移

## その他営業収益



※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。

# 営業費用

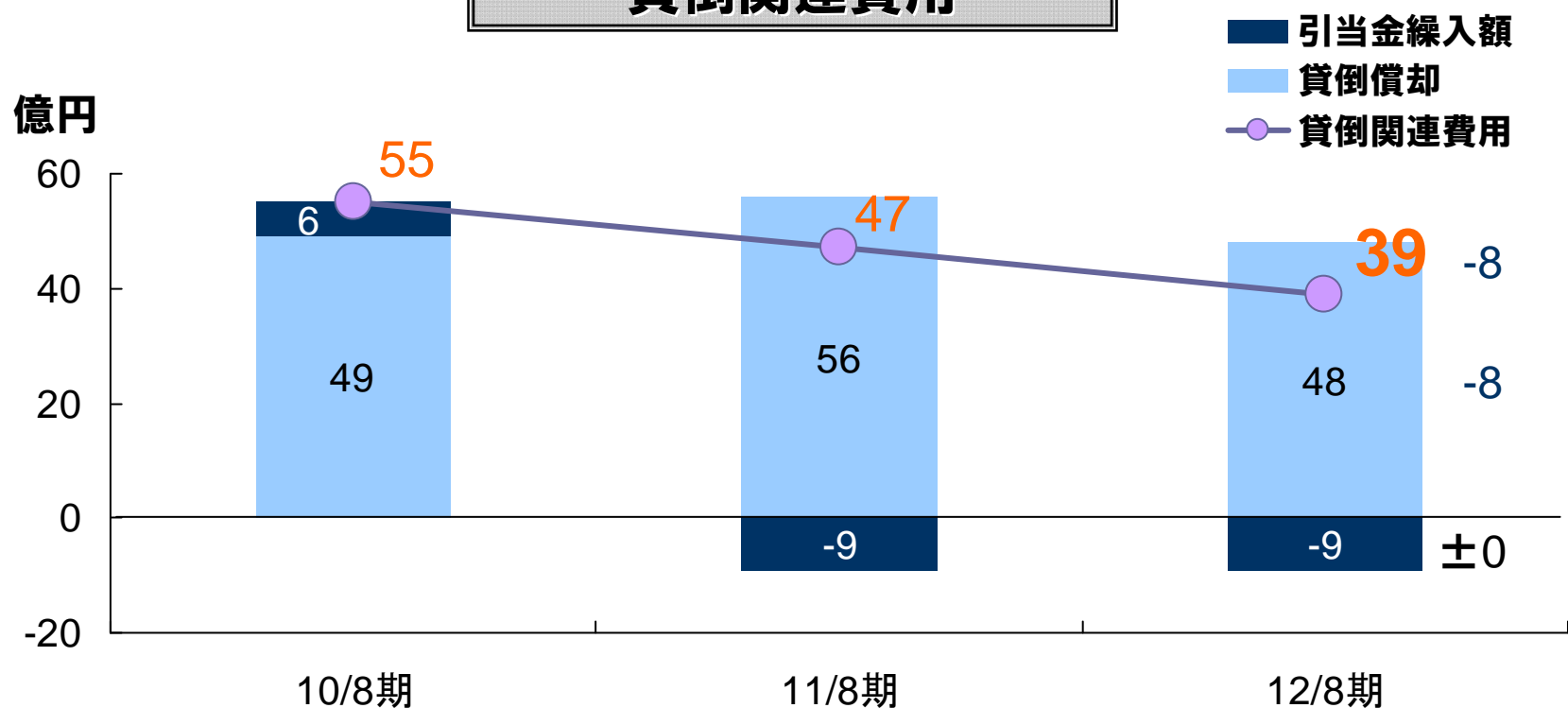
百万円

	11年8月期	12年8月期	増減	前年同期比
① 金融費用	1,583	<b>1,191</b>	-392	-24.8%
② 販管費	14,168	<b>14,641</b>	+472	+3.3%
③ 貸倒関連費用	4,712	<b>3,918</b>	-793	-16.8%
④ 利息返還関連費用	44	<b>1,647</b>	+1,602	—
⑤ その他販管費	9,411	<b>9,075</b>	-336	-3.6%
⑥ 営業費用	15,752	<b>15,832</b>	+80	+0.5%

# 貸倒関連費用

債権の良質化、融資残高の減少により  
貸倒関連費用は減少

## 貸倒関連費用

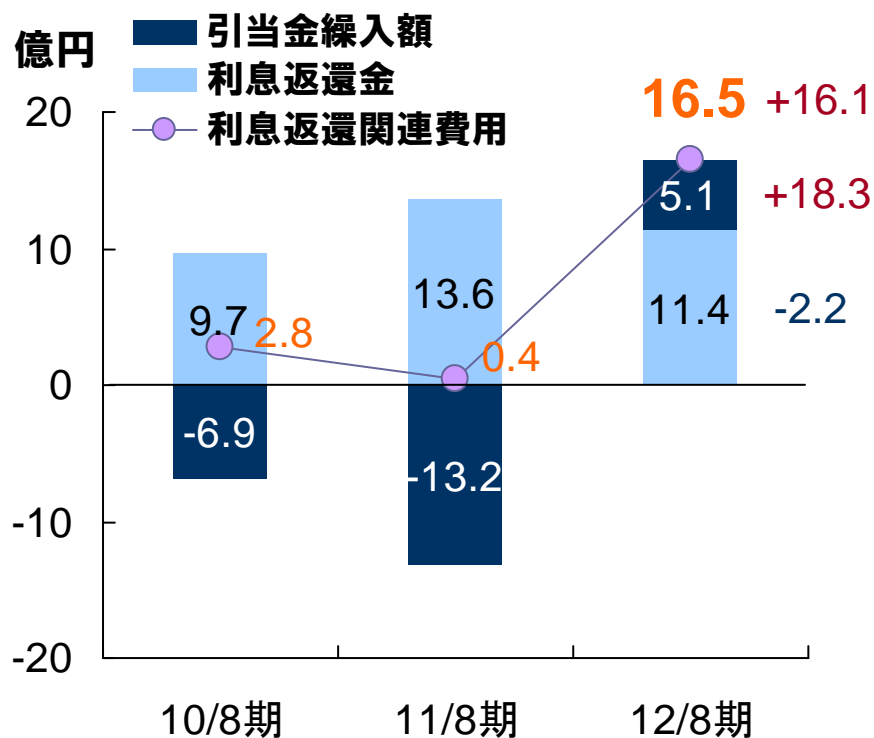


※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。

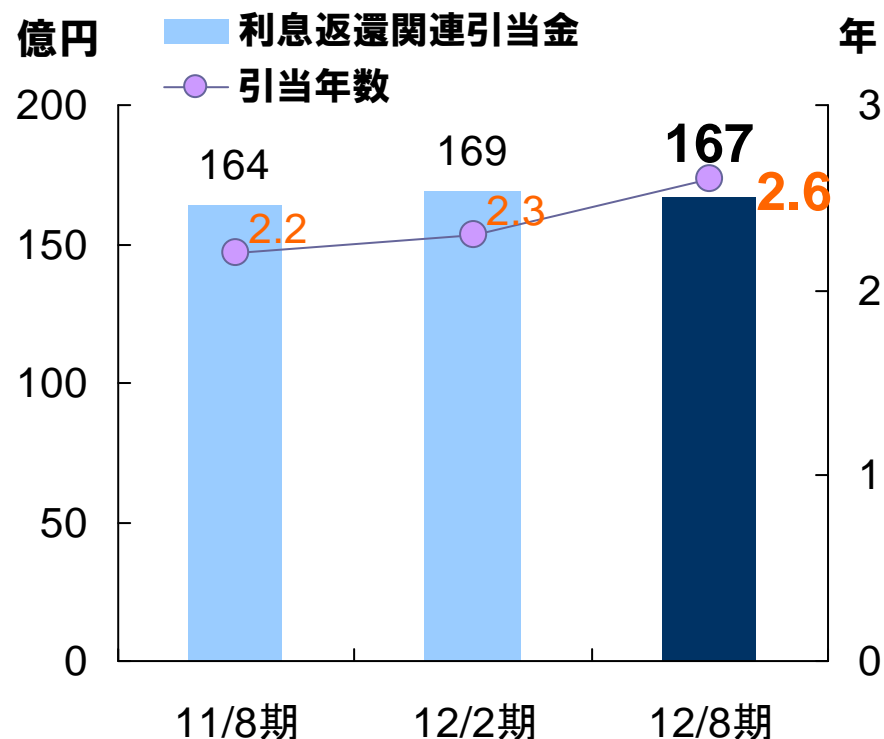
# 利息返還関連費用

利息返還金は減少するも引当金繰入により関連費用増  
引当年数は2.6年と保守的な水準

## 利息返還関連費用



## 利息返還引当金

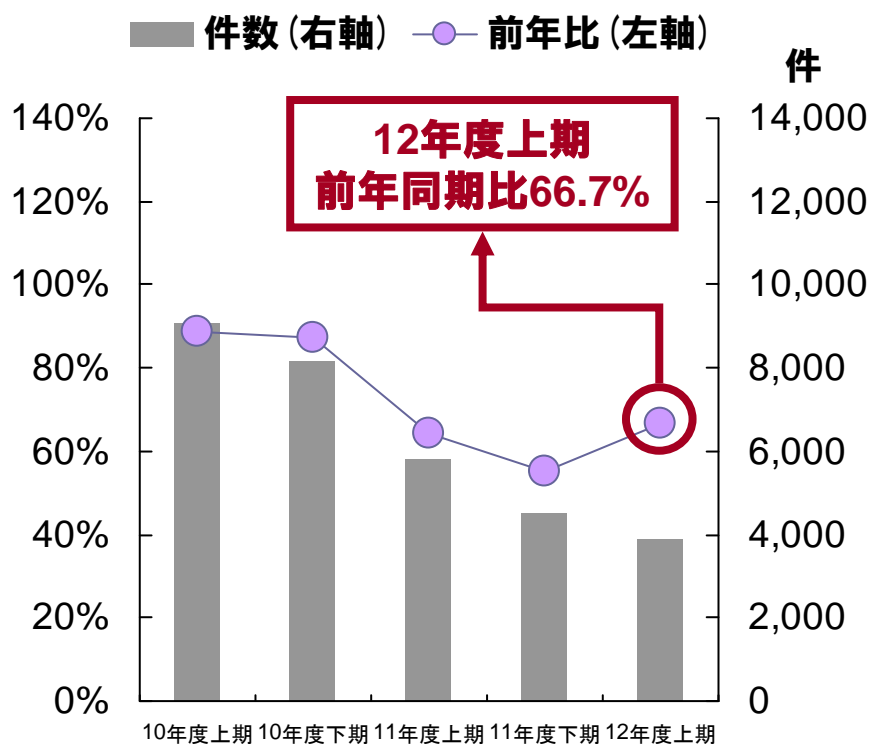


※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。

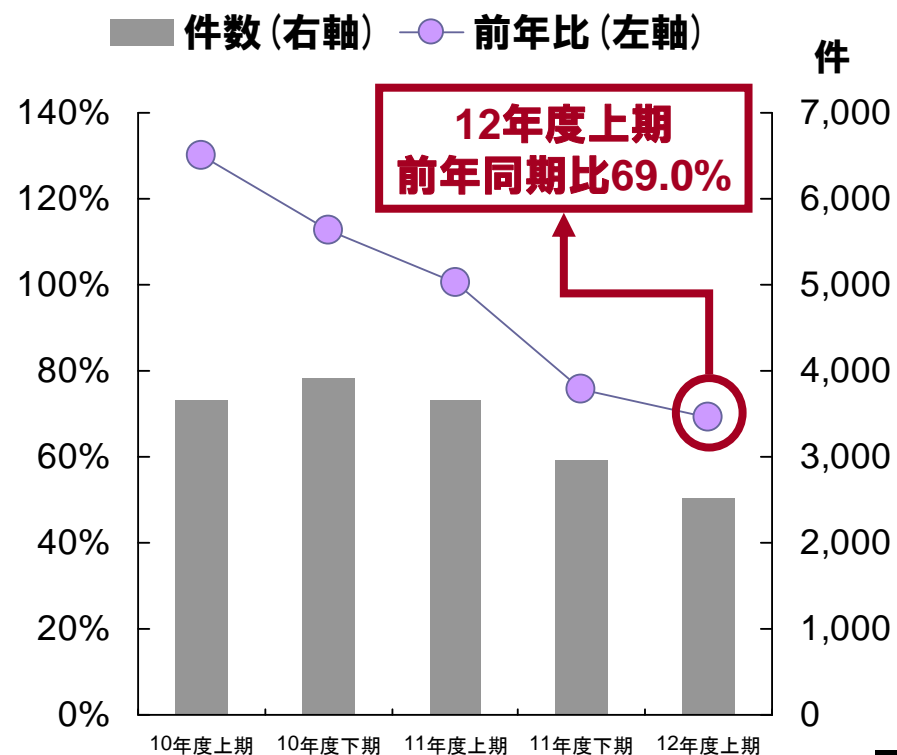
# 新規介入/利息返還請求件数

新規介入、返還請求とも引き続き減少傾向を維持

## 新規介入件数

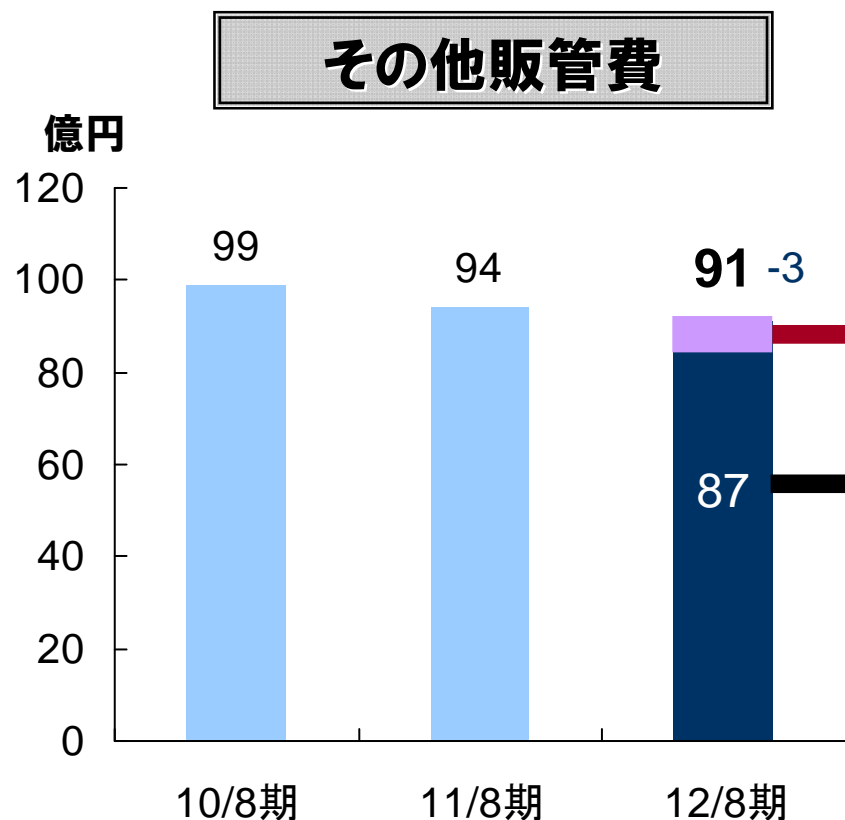


## 利息返還請求件数



# その他販管費

各種コスト削減等によりその他販管費は引き続き減少



## 合併関連費用

### 販管費のうち4億円

- (1) FMC社基幹システム早期償却
- (2) 事前告知DM費用
- (3) その他各種費用

## その他一般経費

### 前年同期比 約7億円減少

- (1) PC社基幹システム償却期間の終了に伴う減価償却費用減
- (2) 人員削減に伴う人件費減
- (3) システム運用コストの削減

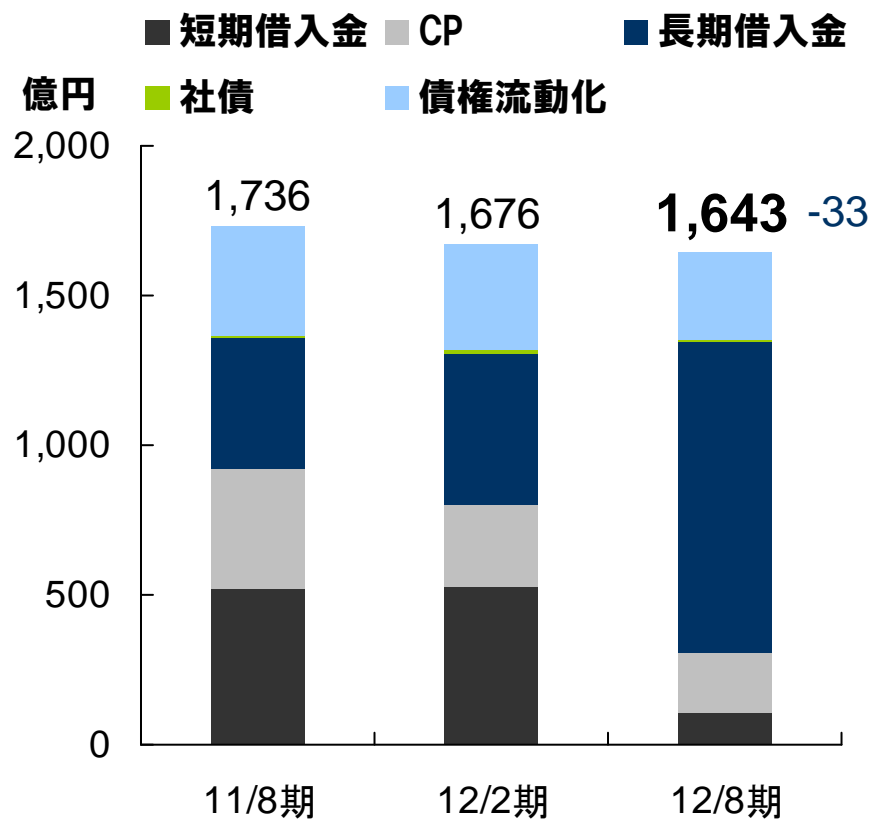
※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。



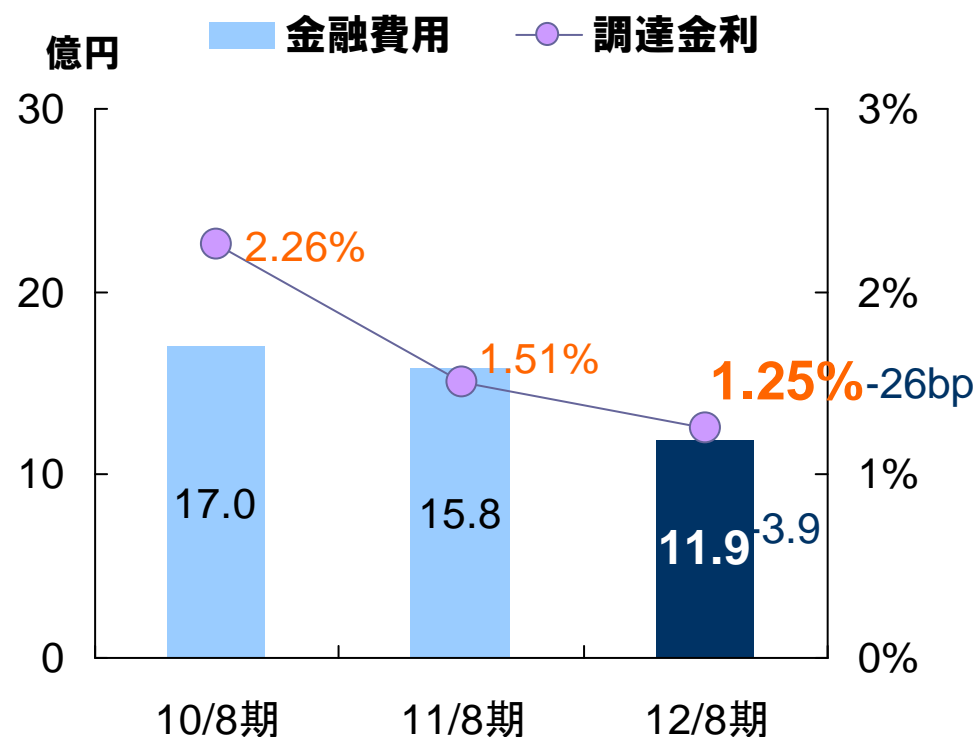
# 資金調達

調達金利は引き続き低下し、金融費用も減少

調達総額



金融費用/調達金利



※11/8期より連結子会社のファミマクレジット(株)を含んだ連結の数値を掲載しております。

# 営業数値

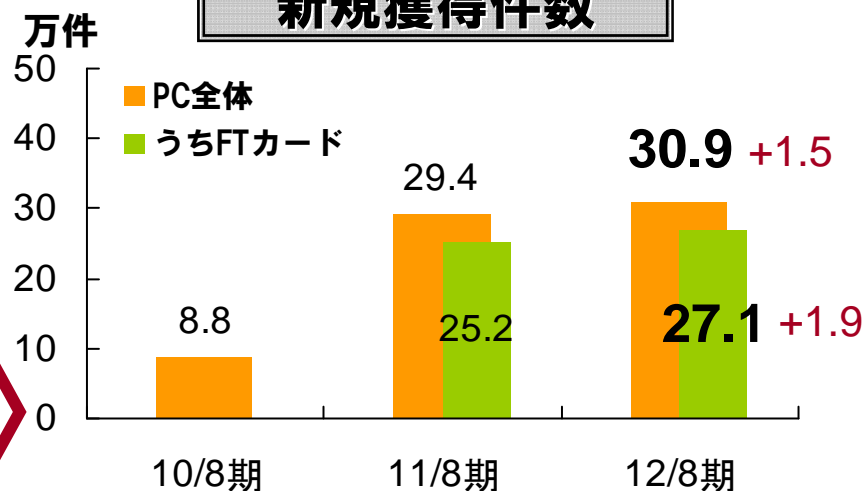
会員獲得はファミマTカードを軸に順調に推移

## 営業数値概況

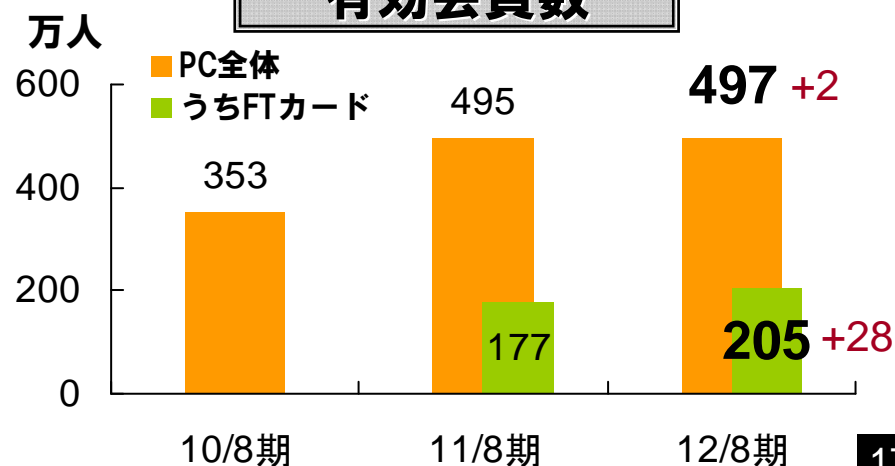
	12年8月期	前年同期差
① 新規獲得件数	309 千件	+15 千件
② 有効会員数	4,972 千人	+14 千人
③ 利用会員数	1,034 千人	-137 千人
④ 年間利用率	37.1 %	+0.8 pt
⑤ 月間利用率	24.3 %	-0.2 pt

※③、④、⑤はポケットカード単体の数値です。

## 新規獲得件数



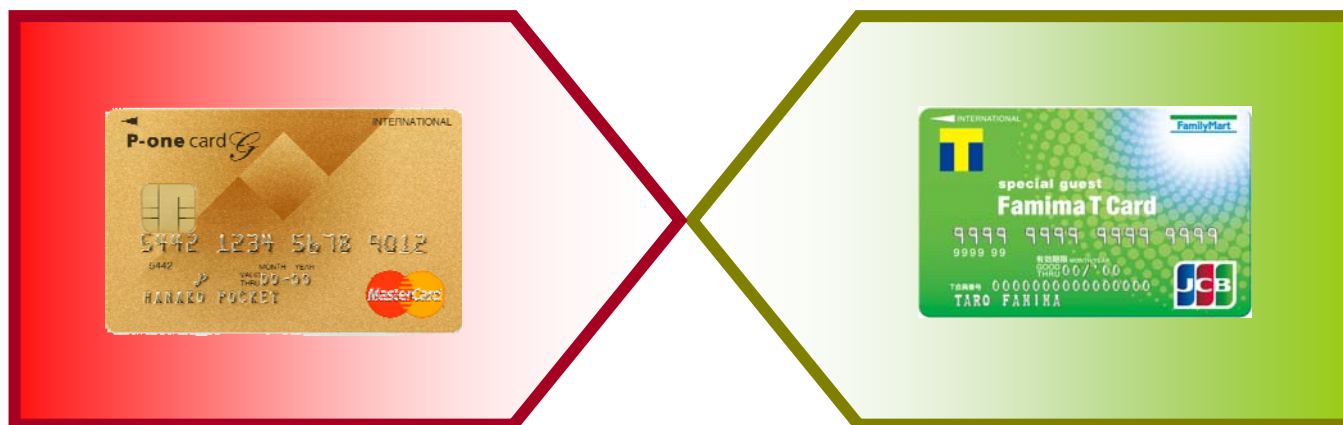
## 有効会員数



# 2012年度下期経営方針

# ファミマクレジット(株)との合併

合併までの主要スケジュール	日程
経営統合公表	平成23年2月21日
完全子会社化	平成23年3月31日
合併契約締結	平成24年4月12日
合併・システム統合	平成24年9月15日



# 合併後の成長イメージ



**1.成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大**  
⇒成長ドライバーとしての位置付け

**2.収益構造の変革と多様化**

- －ショッピングリボ収益のメイン化
- －キャッシング収益の維持
- －カード周辺事業の拡大



**3.サービス&オペレーションの競争力強化**

**4.コスト構造の一段の筋肉質化**

**5.コンプライアンス体制の継続的強化**

# 重要取り組み事項

1

成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大

2

収益構造の変革と多様化

3

サービス&オペレーションの競争力強化

4

コスト構造の一段の筋肉質化

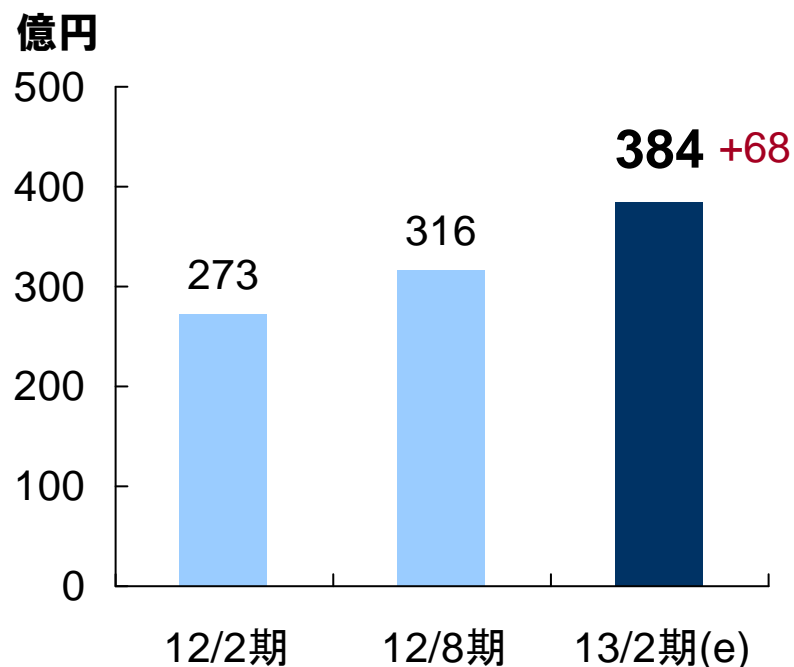
5

コンプライアンス体制の継続的強化

# 成長戦略としてのファミマTカード事業の拡大

ショッピング残高は拡大を維持  
合併に伴いファミリーマート社と更なる連携強化

## ショッピングリボ残高



## 下期取り組み事項

- 新規会員獲得の強化
- システム統合による与信精緻化
- ファミリーマート社との連携強化

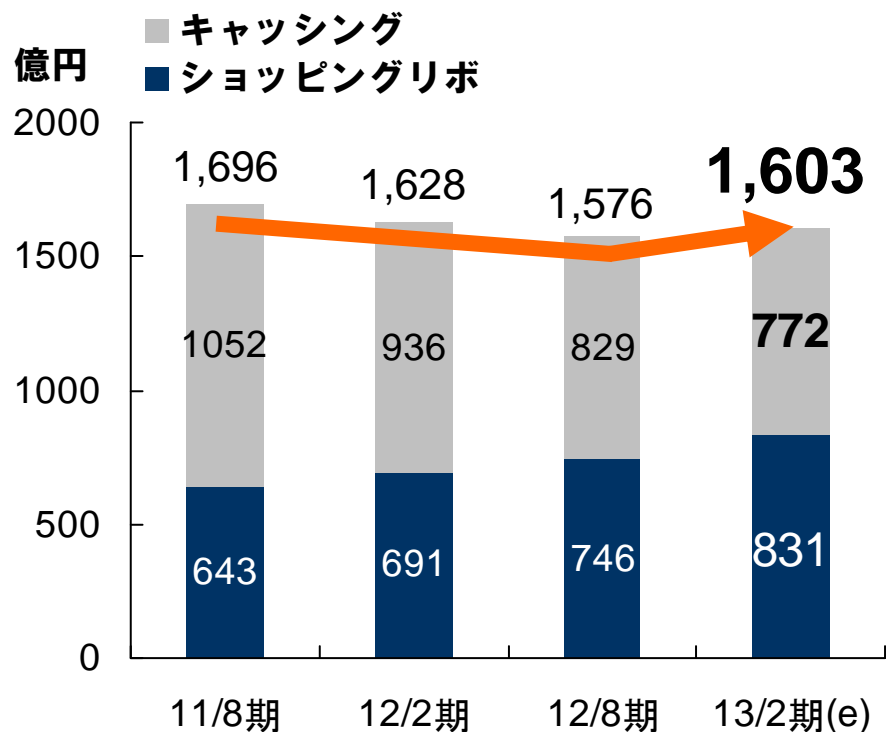


あなたと、コンビニに、  
**FamilyMart**

# 収益構造の変革と多様化①

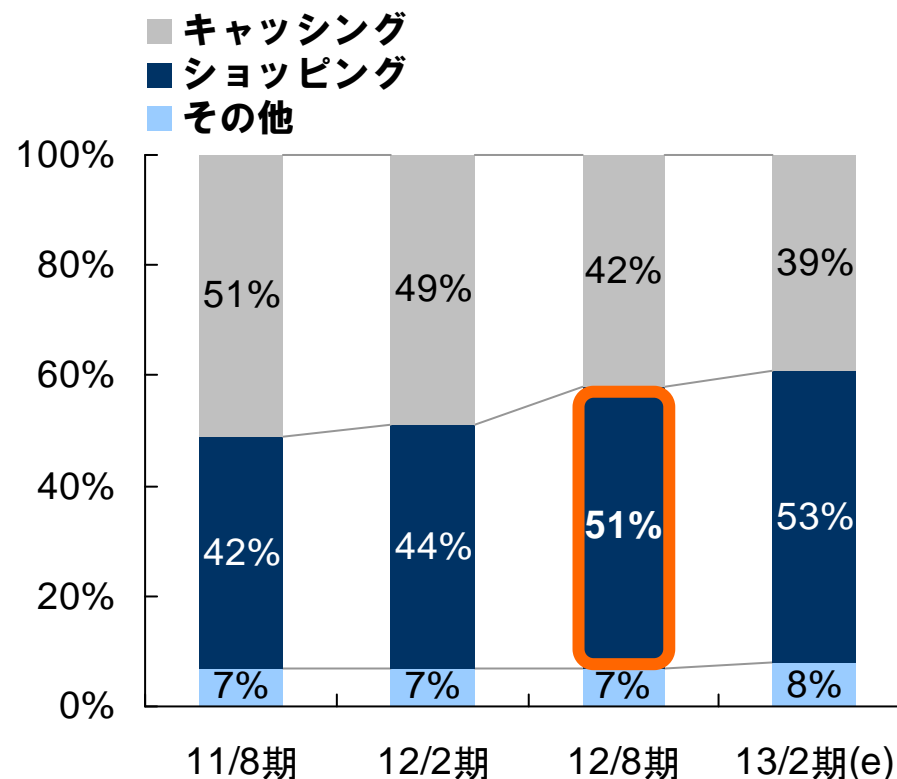
ファミマTカードを軸にショッピングリボ残高が拡大  
収益構造の変革が加速

ローン債権残高※



※ローン債権残高=ショッピングリボ残高+キャッシング残高

収益構成比

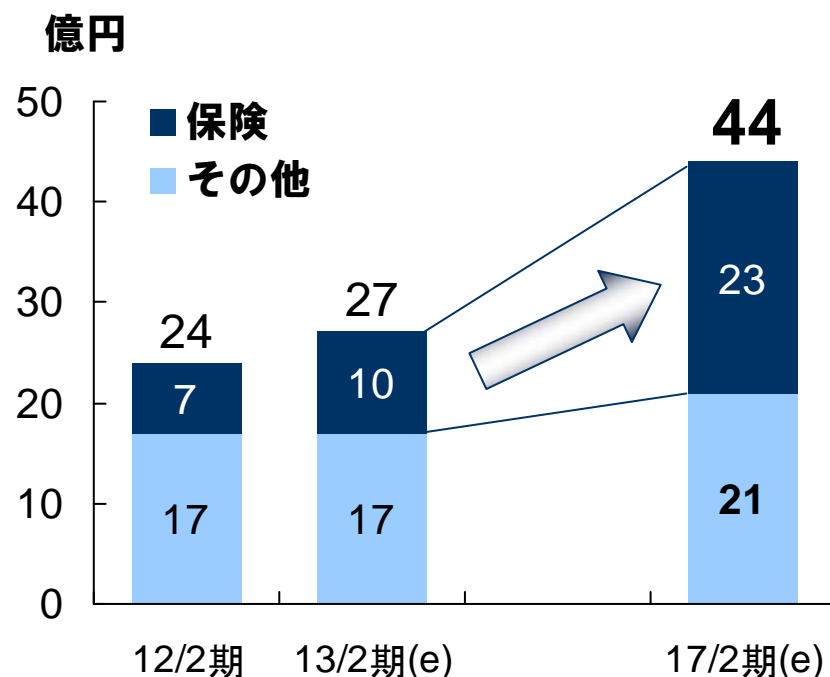




# 収益構造の変革と多様化②

保険事業を中心に安定的な収益源としての  
事業基盤の拡大を図る

## 周辺事業収益



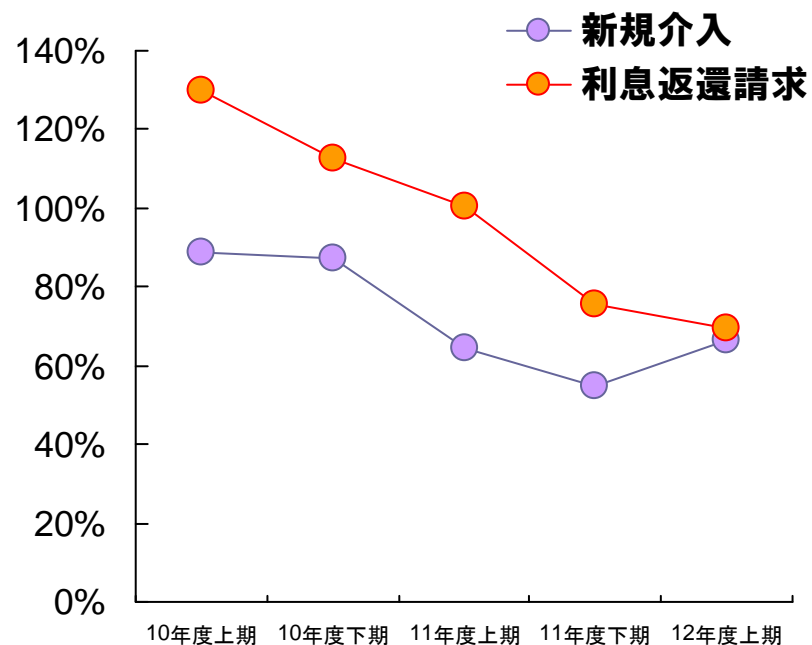
## 保険事業 下期取り組み事項

- ファミマTカード会員へのアプローチ
  - 取扱保険商品の拡大
  - WEBチャネルの拡大
  - コールセンターでのクロスセル
- ⇒伊藤忠Gとの連携強化も含め本格的拡大に向けた取り組みを推進

# コスト構造の一段の筋肉質化①

下期は利息返還関連費用の大幅減少を実現

先行指標 前年同期比



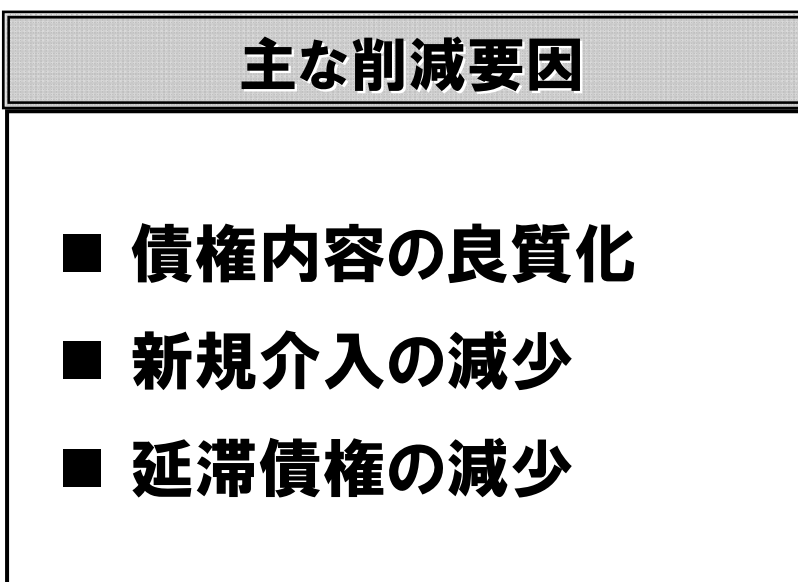
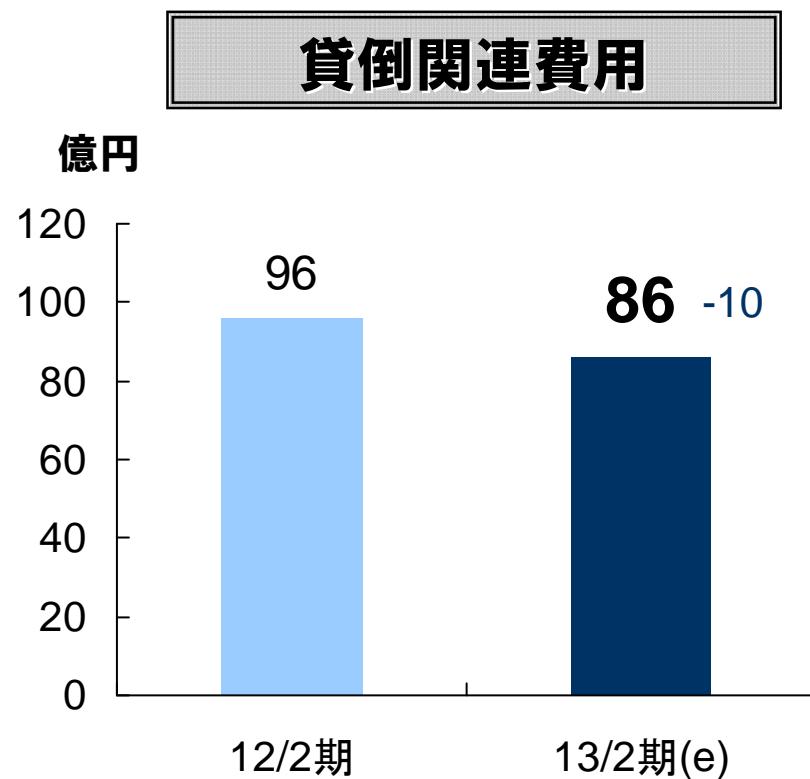
利息返還関連費用

億円

	上期	下期	合計
返還金	11.4	7.6	19.1
引当金繰入	5.1	-18.5	-13.4
合計	16.5	-10.9	5.6

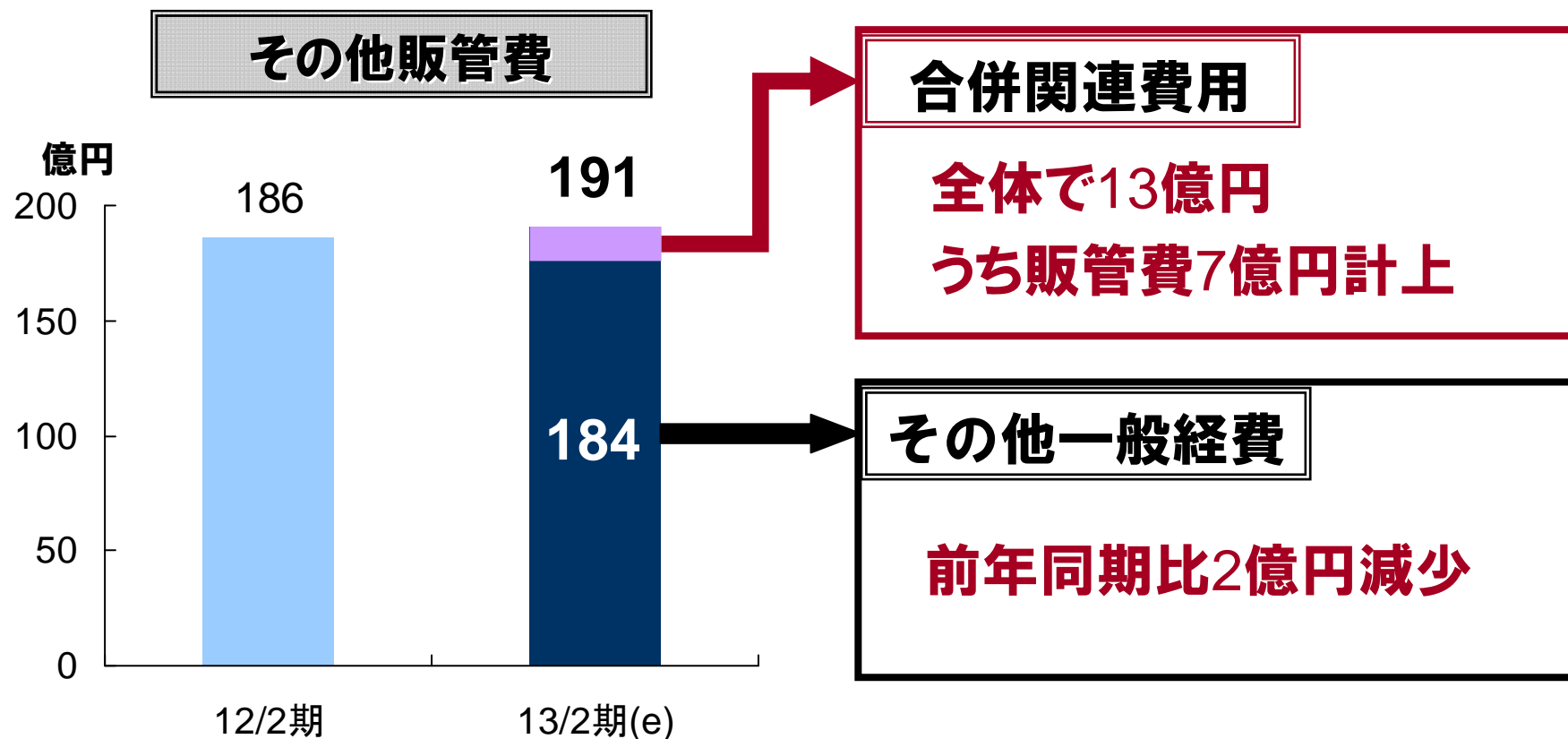
## コスト構造の一段の筋肉質化②

債権内容の良質化、弁護士等からの新規介入減少に伴い  
貸倒関連費用は減少



# コスト構造の一段の筋肉質化③

今期は一時的に合併関連費用が発生するものの  
その他一般経費は各種コスト削減により減少



# 通期業績予想

キャッシング残高の下振れにより経常利益は減益となるも  
当期純利益は期初計画通りの見通し

	期初予想 (4/12公表)	差異		修正予想 (10/10公表)	連結ベース ※2
		要因	影響額		
営業収益	347 億円	キャッシング 収入減	-12 億円	315 億円	335 億円
		FMC社控除分 ※1	-20 億円		
営業費用	317 億円	各種コスト削減	-9 億円	288 億円	308 億円
		FMC社控除分 ※1	-20 億円		
営業利益	30 億円		-3 億円	27 億円	27 億円
経常利益	30 億円		-3 億円	27 億円	27 億円
当期純利益	15 億円	-	±0 億円	15 億円	14 億円

※1 通期は単体決算となる為、上期の連結決算で計上したFMC社の収入、費用を控除

※2 FMC社の収入、費用を含めた、前期連結決算と同基準で試算した業績予想

# IRお問い合わせ窓口

---

◆本日の説明会に関するご質問、個別IRミーティング  
開催のご希望、その他IRに関するご質問  
などございましたら下記までご連絡ください。

<IRに関するお問い合わせ先>

経営企画部 IR・広報担当 廣田・外崎

TEL : 03-5441-3450 FAX : 03-5441-1231

E-mail : koho@pocketcard.co.jp

弊社IRホームページ

<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>